

「マリブルーの回想」

広島県 在住 Tさん

一昨年、そごうデパートから森崎修太画伯の個展の案内をいただき、期待をもって、夫と二人で見に行きました。ご挨拶した後、会場を一回りして、二枚の絵が二人の視線を別々に捉えました。一枚は、横型10号の画面に、「マリブルーと白」で描かれたミコノスの海岸を見ている猫の後姿、「猫の眺めるミコノス」。もう一枚は、セーヌ河畔に佇む、愁いを秘めた人物の縦型「プロムナード」4号、前者を私、後者は夫、意見は二つに分かれました。共通の眼を捉えた理由は、2002年5月に亡くなった、やさしかった次男の面影が二つの姿に「哀愁」として投影されていたからです。



次男は海が好きで、スキューバダイビング、カヌーなどに良く出かけていました。これが「マリブルー」に魅せられた理由です。結局は、この海の絵にきめました。今となっては、会うことの出来ない次男の思い出の縁(よすが)となって、我が家の夏の玄関を飾っています。



平成16年7月31日 記

DM作品・紹介



「薔薇」 20F 油彩

華やかでありながらシック！
曲線と直線 主役は薔薇でありながら、壺やテーブル掛けにも眼がとられる・・・画家のあそび(創作)心が発揮された1点はのびやかに・・・。



「サントロペの眺め」 10F 油彩

訪れる度に海の光景がちがった印象で新鮮だとか。ここで暮らす人・旅で訪れた人。様々な人の営みを受け容れてきたあの海も教会の塔もいつも通り佇んでいる。

広島のスポート



広島市内の風景



ファンの方々と一緒に修太先生



5回目の個展を迎えた広島展
ファンの方々と交流もたくさん生まれました!



ギリシャ Greece

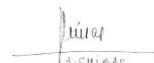


ATHENS 2004
Games of the XXVIII Olympiad
第28回オリンピック競技大会(2004/アテネ)



画家の視線 シリーズ

「フランス人が理屈っぽい訳」



フランス人ほど母国語を大切にする国民はないかと思います。外国人の名前ですらフランス語読みにするのです。たとえばイタリアの大画家ミケランジェロですら、ミッシェル・アンジュといったふうに。我国日本は横文字の氾濫でいつの間にか知らない横文字だらけとは情けない話です。昔からの美しい言葉がどんどん忘れ去られ様としております。仏国の学校教育では小学校の時から徹底的に母国語で正しい自分表現(自分の言葉で)をいかにできるかを! 宿題に作文は日常茶飯事。本当に母国語を愛することに力を注いだ結果がフランス人を理屈っぽい国民にしたのかもしれませんが。ワインでも飲めばワイワイガヤガヤと人の話には適当にはぐらかしながら、いかに自分の意見を通すかに。フランス人の‘アンチ・アメリカ’は周知の事実なのですが・・・ラジオ番組でフランス語以外(特に英語)使わない様にしようではないかといった嘘のような話も! 実際あった話です。我国も少しはフランスを見習った方が良くもありません。もう少し理屈っぽく自国の言葉を愛する国になるかもしれません。



Shota 森崎 修太

編集局に寄せられた修太先生からのコメント



広島の人々にひと時でも
心に残る展覧会にしたい
ものです。頑張りましょう。

広島のお好み村でビール
を飲みましょう



編集後記

大きなフロシキに修太作品小品 3 点を包み朝一番の新幹線に乗ったのは '96年の秋だった。どうしても広島でこの展覧会をしたい! 明るく開放感ある色彩を観てもらい、語り合えたら・・・! その夢が叶って10年近くの日々が重なりました。心に残る出会い、お話。修太先生が色彩の奥に塗り込めたい思いがこの広島の街に降り立つ度に問いかけられ、伝わってきます。 事務局 石崎

お知らせコーナー

今後の「修太個展」予定

- '04 11月中旬・・・ 仙台三越
- '04 12/13~12/19・・・ 東京銀座
- '05 5/3~5/9 ... 福岡三越
- '05 7/13~7/19 ... 神戸丸

